

ユネスコ・スクール・ネットワーク支援のための大学間ネットワーク

“ASPUnivNet”

【宣言】

現在、人類は地球温暖化などの環境問題をはじめ、持続性の上で大きな課題に直面しております。日本政府が示した教育振興基本計画(平成20年7月1日)には、「持続可能な社会の構築に向けた教育に関する取組の推進」があげられ、一人一人が地球上の資源・エネルギーの有限性や環境破壊、貧困問題等を自らの問題として認識し、将来にわたって安心して生活できる持続可能な社会の実現に向けて取り組むための教育(ESD)が重要であるとしています。このために ESD を担う人材の育成や教育プログラムの作成・普及に取り組むことが大切であり、すでに先進的な大学が ESD に取り組んでおります。この人材育成において、中長期的にはその推進主体が学校教育現場にあります。



見上一幸 宮城教育大学副学長

今、世界遺産で有名なユネスコ(国連教育科学文化機関)には、ユネスコ・スクール・ネットワーク(ASPnet)というネットワークがあり、世界で約 7,900 校が加わっております。ESD を主導するユネスコの世界的な学校ネットワークであるユネスコ・スクール加盟校の増加を目指して支援することは、ESD 推進の上から効果的な方法の一つと考えられます。また、ESD をテーマとして ASPnet を機能させることによって、教育現場で実態として捉えにくかった “Think globally” をしっかり体験することもできます。

大学は、ユネスコ・スクールの人的基盤の強化と学術研究活動の成果の活用を主たる機能として、プロジェクトの発展充実に重要な使命を担うことができます。ユネスコ・スクールにとっては、大学が行う学術研究活動の成果が教材として活用されること等により、プロジェクトの科学的根拠が強化され、教育現場との連携がより密なものとなります。

ESD を実践するユネスコ・スクールが全国に広がるためには、全国的な大学による支援体制を確立していくことが必要と考えます。現在ユネスコでは、ASPnet に加盟できる大学は教育系に限られておりますが、ESD 推進において ASPnet を支援できる高等教育機関は、環境系、農学系、工学系等、学部や研究科の壁を越えて存在します。そしてこれら大学等高等教育機関は、ESD における優れた教育資源を提供できる能力を備えております。そこでこの度、ESD をテーマに ASPnet に加盟する日本と海外の学校が活発に交流できるように、学校を支援するための大学間ネットワークを創設するものです。

【大学間ネットワーク参加大学】2008 年 12 月現在

北海道教育大学(釧路校)、岩手大学、玉川大学、金沢大学、奈良教育大学、岡山大学、宮城教育大学、東北大学(環境科学研究科)

【大学間ネットワーク構築の経緯】

ESD に関わる内容をすでに実践している学校は多い。また、それらの内容をテーマに、外国の学校と交流を行ないたいと考えている学校も多い。宮城教育大学は 2007 年に教員養成大学として自らが ASPnet に加盟し、広く学校に ASPnet の存在を紹介し、加盟申請を支援し、ESD の活動を支援することを決めた。2008 年7月に教育振興基本計画が閣議決定され、その中でユネスコ・スクールのネットワークを活用した ESD の推進が明示された。2008 年 11 月 8 日に文部科学省と宮城教育大学が主催した「ユネスコ・スクールの集い」に、すでに ESD あるいはユネスコ・スクール活動に先進的に取り組んでいる大学に声掛けしたところ 10 大学からの参加があった。このときに「ユネスコ・スクールを支援する大学間ネットワーク」の設立を提案し、8大学からの賛同を得られた。これら8大学で検討を進め、上記のような宣言文を用意し、2008 年 12 月 2 日から国連大学(東京)を会場に開催された「ESD 国際フォーラム 2008」において、発表した。今後は、このネットワークに加盟する大学を募り、互いに情報の交換を行ないながら、多くの学校を支援できる体制を目指す。

【加盟大学のネットワーク担当者】



北海道教育大学釧路校 (ESD推進センター)
Hokkaido University of Education Kushiro Campus
(Center for Promoting ESD)

〒085-8580 北海道釧路市城山1-15-55

担当: 教育学部 准教授 川崎 惣一



岩手大学
Iwate University

〒020-8550 岩手県盛岡市上田三丁目 18 番 8 号

担当: 副学長 玉 真之介



東北大学大学院環境科学研究科
Tohoku University
(Graduate School of Environmental Studies)

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-20

担当: 環境科学研究科 准教授 浅沼 宏

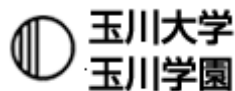


宮城教育大学
Miyagi University of Education

〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉 149

担当: 附属国際理解教育研究センター長 藤田 博

附属国際理解教育研究センター 准教授 市瀬 智紀



玉川大学 教育学部
Tamagawa University (College of Education)

〒194-8610 東京都町田市玉川学園 6-1-1

担当: 教育学部教授兼教育博物館館長 渡辺一雄
教育学部 准教授 小林 亮



金沢大学
Kanazawa University

〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学

担当: フロンティアサイエンス機構特任教授 鈴木克徳



奈良教育大学
Nara University of Education

〒630-8528 奈良市高畑町

担当: 副学長(国際交流・地域連携担当) 淡野明彦



岡山大学
Okayama University

〒700-8530 岡山県岡山市津島中1-1-1

担当: 環境学研究科長 教授 阿部宏史

Interuniversity Network Supporting the UNESCO Associated School Project Network

お問い合わせ先

国立大学法人 宮城教育大学

住所: 〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉 149

TEL: 022-214-3305 FAX: 022-214-3309

MAIL: shomu@staff.miyakyo-u.ac.jp



ユネスコ国内委員会会長
田村哲夫氏 基調講演
教員養成と国際協力の在り方

アイセック・ジャパンの
学生達に混じり、ユネスコ
・スクール申請検討中の中
学生の参加もあり有意義な
シンポジウムとなりました。

マダガスカル
支援の教育実践活動

仙台市八木山動物
公園に、チンバザザ
から数名の研修生を受け入れ、
宮城教育大学と共同で研修事業
を行います。



23日（月）10:00～
専門家会議

ベリーズ・ネパール
を対象にESDの展開の可能性
と具体的な内容について議
論を深めました。